

中執ニュースレター No.1

2005年2月1日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

2005年中執スタート

2005年度職員組合の役員就任のご挨拶

久野勝治



この度、職員組合委員長を仰せつかった農学部環境資源科学科の久野です。国立大学が法人化されるという、国立大学史上はじめての大事件を昨年迎えられた旧執行部の皆様に比べ、法人化を迎え終わった今期のほうが、少しは楽ではないかなと根拠のない楽観論を抱きつつ、お引き受けした次第です。とはいえ、私をはじめ中央執行委員を勤めさせて頂いたほぼ四半世紀前の状態に較べて、組合員は半減しております。大学と組合が直接交渉して処遇の改善が出来るという新しい時代に入りました。是非、多くの方々の参画によって強大な組合をつくり、一步でも二歩でも労働条件その他が改善できますようご協力をお願いする次第です。

新執行委員紹介

新執行委員は次の方々です。新任の挨拶は後段に掲載しました。

役員名	氏名	所属
執行委員長	久野勝治	環境資源科学科
副執行委員長（小金井支部委員長）	熊谷義直	応用分子化学科
書記長	東城清秀	地域生態システム学科
執行委員（府中支部委員長）	土屋俊幸	地域生態システム学科
執行委員（府中支部書記長）	鈴木 馨	F Sセンター
執行委員	坂本真一	F Sセンター
執行委員	田中文恵	図書館
執行委員（小金井支部書記長）	田中邦明	有機材料化学科

都大教常任幹事の内本聡氏（生物生産学科）にも執行委員会をサポートしていただいています。

第1回中執委員会の報告

2005年度中央執行委員会がスタートを切りました。第1回中執委員会を1月25日に開き、今年度の運動方針・予算と昨年度の引継事項を確認し、業務の分担を決めました。執行委員会は予算執行の透明性を高め、組合費の見直しを進め、組合への加入促進を図ることにしました。主な議題は次の通りです。

1．職代の選出、2．上部団体の加盟・脱退問題、3．組合会計の透明化、4．労働協約・労使協定、5．ホームページの充実、6．広報体制の整備、7．退職者送別会の開催、8．書記局体制の整備、9．府中組合事務室の整理

新しい書記さんの紹介

永らくお勤めいただいた山田書記が昨年末で退職されました。山田書記には組合のネットワークの要として、また、毎年交代する執行部を陰で支えていただきました。本当にありがとうございました。

この1月から新たな契約により、2名の書記を雇用することにしました。勤務時間は次の通りですので、気軽に事務室にお立ち寄り下さい。



平塚信子さん（府中市在住）
小金井事務室 月・金
府中事務室 火・水・木
勤務時間 10時～15時



江原洋子さん（府中市在住）
府中事務室 月・水
勤務時間 12時～16時

4月以降、お二人の勤務時間は見直すことにしています。

ビデオ、無料で差し上げています

府中組合事務室で貸し出ししていたビデオを整理して、不要なものを組合員の皆様に無料で差し上げることとしました。「ベン・ハー」や「プーさん」など大人も子供も楽しめるソフトがあります。詳しくは、府中組合事務室（内線5797、E-mail:kumiaif）まで、お問い合わせ下さい。

旧執行委員の皆さん、ご苦労様でした

激動の2004年を闘われた執行委員の皆様、本当にご苦労さまでした。

役員名	氏名
執行委員長	淵野雄二郎
副執行委員長（小金井支部委員長）	荻野賢司
書記長	伊豆田 猛
執行委員（府中支部委員長）	石井泰博
執行委員（府中支部書記長）	横山 正
執行委員	小島喜孝
執行委員	樫田陽子
執行委員	樋口隆久
執行委員（小金井支部書記長）	荒井正彰

法人化で見直される組合の存在

淵野雄二郎（前中執委員長）

早いもので、国立大学法人が発足して一年が過ぎ去ろうとしています。この一年で国立大学法人下での大学運営のあり方を検証する出来事がいくつかありました。その一つは、学長・役員会の独断的なトップダウン方式が多くの職員の厳しい批判にあったことです。国民に負託された高等教育機関が企業と同じような「効率性と成果主義」に偏した論理に支配されては、その使命と役割が十分に果たせないということを大多数の職員が肌で感じたのではないかと思います。もう一つは職員組合の使命、役割があらためて問われたことでした。組合は法人化の立ち上げの条件になる就業規則の検討、意見表明及び労使協定の締結に大きな力を発揮しました。また、本学の将来の方向づけに重要な意義をもつ次期学長選出が公正に実施されるように全力をあげました。法人化によって学部・部局自治の比重が低下し、従来、教授会及び評議会が関与していた権限の多くが役員会に移行し、教育研究の自主性・自立性の確保と表裏の関係であった大学の管理運営への関与から切り離されることが懸念されています。その中で学部及び階層をこえて全職員を対象にして組織されている職員組合の役割と行動力 労基法に基づく団体交渉権を背景にした交渉力 は、大学の自主的・民主的発展にとっては欠かせない存在になっていると思います。

組合の力が大きくなれば、大学運営に対する発言力も強まり、職場環境も変わります。多くの職員の皆さんが組合に加入し、新しい大学づくりに参加されることを望みます。

退任の挨拶

榎田陽子（前中執委員）

平成16年執行委員の榎田です。執行委員を仰せつかったのは初めてで、一年前に活動が始まった時は独立行政法人化を前にどうなることかとても不安でしたが、一年間あっという間に過ぎた気がします。独立行政法人化に伴う過半数代表の設定に当たっては過半数組合の必要性を強く感じましたが、任期中に農学部で組合員増加がかなわず残念でした。組合に所属するメリットについては執行部の中でも議論し、パンフレットや職場会を通じて組合員の方々にお知らせしてきましたが、まず組合員ひとりひとりが利用しやすい組合を作ることが大事、と組合活動を通じて感じました。日頃からの職員同士のコミュニケーションの場として組合がもっと機能するようになればと思います。そんな思いもあり、任期の終わりに書記の平塚さんと組合事務室の大掃除を敢行しました。組合事務室は60年の歴史を物語る資料が山のようにありましたが、これを機にずいぶんすっきりしたと思います。壁も明るくなりました。皆さんも用がなくても組合事務室にぜひお立ち寄りください。一年間、ありがとうございました。

今回掲載できなかった前執行委員の退任挨拶は、次回ニュースレターに随時掲載いたします。

新執行委員のあいさつ

熊谷義直（中執副委員長、小金井支部委員長）

教職員組合中央執行委員会の副委員長（小金井支部委員長？）となりました熊谷義直と申します。平成11年4月に農工大に助手として着任し、まもなく6年目が終わろうとしております。その間、大学を取り巻く環境も大変動し、今もそれが治まっていないと感じます。そんな事もあり、昨年秋に教職員組合に加入したところ早速大役を仰せつかりました。自分でも戸惑うことばかりで皆さんには頼りなく感じることを思います。若さ？でカバーできるとは思いませんが、がんばります。よろしく願いいたします。

土屋俊幸（中執委員、府中支部委員長）

まだ農工大に移ってきて3年目で、土屋って誰？という方がほとんどだと思いますが、よろしく願いいたします。前任の石井委員長が委員長としての風格をお持ちだったのに対して、いささか重さに欠けるのですが、逆に「軽さ」を武器にフットワークよく活動したいと思っています。組合にとって、法人化後のいまは、大学におけるプレゼンスを大きく確固たるものにする絶好のチャンスです。執行部一同頑張りますので、組合員のみなさまの温かいご支援をお願いいたします。

鈴木 馨（中執委員、府中支部書記長）

F Sセンターの鈴木 馨です。2005年度の中央執行委員で、府中支部の書記長を兼ねることになりました。よろしく申し上げます。勤務をはじめてまもなく組合に入ったものの、今まで委員をつとめたことがなかったので、正直な話、様子がわかりません。色いろと周囲の方に教わりながら、役割を果たしていこうと思っています。日ごろ接触の少ない人たちと、これを機会に親しくなれることを楽しみにしています。

田中邦明（中執委員、小金井支部書記長）

このたび、新執行部の執行委員を仰せつかりました田中邦明と申します。所属は工学部有機材料化学科臼井研究室(4号館2階241号室)で、教務職員という微妙な立場？で仕事をしています。小金井支部のほうでは、書記長として活動させていただくことにもなりました。日々の勤務は研究室や学科中心ですが、組合という場で得られる日常よりもちょっと視野の広い交流や有益？楽しい？情報交換により親睦を深めながら、独法化によって今まで考えてもみななかったことが疑問に思えてきたときの不安を解消していくことが大事ではないかと思えます。どうか宜しく御願い申し上げます。

坂本真一（中執委員、府中支部委員）

今回で執行委員は2回目になります。前は技術職員組織化問題や、レクリエーションを中心に活動しました。今回は法人化二年目で課題が多い中、組合離れがあたりまえになっています。組合とは何だろうかを考えながら、できるだけ楽しく執行委員を務めていければと思います。普段はあまり真面目な組合員ではないので、まわりの方々に教わることが多いと思いますが、どうぞよろしく申し上げます。

田中文恵（中執委員、府中支部委員）

学術情報チーム 府中図書館 田中と申します。今回初めて委員を務めることになりました。組合在籍歴は長いものの組合活動に深く関わった経験がなく、この大きな変革期に委員を務めることに対して不安も感じております。

国立大学法人化がスタートし、さまざまな変化にとまどうこともありますが、組合活動を通じて、ただ振り回されるだけでなくその変化に対してより良い方向へ向かっていけるよう、力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしく御願い致します。

東城清秀（中執書記長）

激動の法人化から1年が過ぎようとしています。校費も外部資金も厳しく、教育研究に徐々にしわ寄せが来つつあります。内部の積み重ねの議論もなく、中期目標ありきの風潮も気になります。機関としての評価の次は個人の評価になるのでしょうか。組合の書記長として何ができるのか不安はありますが、皆さんのお力をお借りして、一つ一つ問題を解決していきたいと思っています。旧執行委員の皆様、本当にご苦

労様でした。一休みしたら、また力を貸してください。どうぞ宜しくお願いいたします。

1月の活動報告

- 1/6 書記採用面接
- 1/11 府中支部引継
- 1/14 小金井支部引継
- 1/17 中執引継
- 1/25 第1回中執委員会 新旧中執懇親会
- 1/27 工学部長への挨拶
- 1/29 都大教主催 春闘学習会「団体交渉ってどうやるの」

編集後記

新執行部がスタートしました。法人化2年目に向けて、気合いを入れなければというのが実感です。今年度は組合情報をeメールでニュースレターとして配信いたします。この手のメールは多いと思いますが、組合情報は是非お読みいただきたいと思います。次回からは、講座なども加えて読みがいのあるものにしたいと思っております。皆様からの投稿も歓迎いたします。書記又は近くの執行委員に気軽に声をかけてください。

(東城)

発行 2005年2月1日
東京農工大学職員組合中央執行委員会